

4月の振り返り

綾高では桜の次にツツジが見事に咲き誇りました。最近ではウグイスの鳴き声が聞こえています。

新年度一月が過ぎ、振り返りをしたいと思います。

4月は授業と並行して、学年ごとのオリエンテーションや到達度テスト、新体力テスト・身体計測、各検診、対面式、部活動見学や入部が行われました。



生徒の様子の中、私には対面式での生徒会長の話は印象に残りました。生徒会長は新入生に向け、自分と周りの仲間との関わりが今の学校生活を充実させている。そんな仲間に出会えたことが嬉しいし、ぜひその様な友人関係の作れる綾高生活を味わって欲しいと、自分の言葉で心のこもった穏やかな口調で伝えていました。

他にも、新入生代表の言葉や6月に行われる体育祭5色の団長たちの意気込みも、エネルギーを蓄えたマグマのように、生徒たちからは熱を感じました。体育祭が楽しみです。

生徒は各々で横のつながり、縦のつながり、教職員とのつながりを過ごしています。この一月で、生徒は綾高での新しい生活にそれぞれ馴染んできたようです。よきつながりの中、綾高での経験を積み上げて成長して行くことを期待します。

話は変わりますが、4月中頃、2年生女子生徒が通学中に横断歩道を一人で渡る幼児に気が付きました。生徒は幼児が危ないので横断を見届けましたが、親と一緒にいるわけではなく一人でいることに心配な気持ちを抱き、声を掛けました。結果、異変を感じて近くの交番に連れて行ったのです。その後、交番で幼児のお父さんにお礼の言葉をもらい、学校に登校して来ました。なんと、素晴らしい生徒！そして、その生徒は、朝は余裕をもって家を出ているようで、このことも感心しました。

生徒は、校長室での私からのインタビューにも明朗快活に答えていました。保護者のように校長室に引率してきた担任の「よく気付いたな」「よく声を掛けたな」と嬉しそうな声掛けの様子も印象に残りました。

綾高の日常について来月も振り返りを掲載いたします。お読み頂けますと幸いです。

校長 野中幹子